

嘉永七島年九月十八日未下刻

大浦和定

長子書

大坂天保山沖合

舟西亞波來

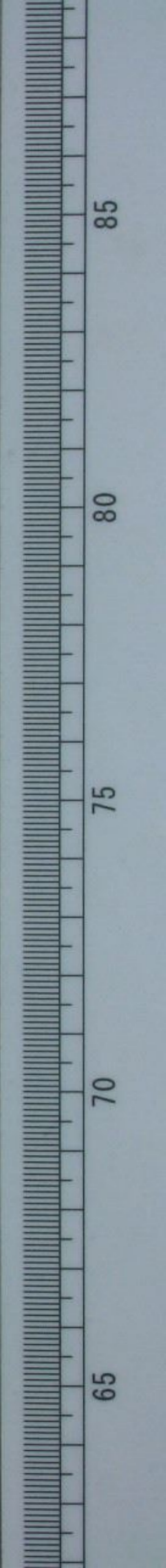
御奉行 吳人 城 公 若 江 戶

表 下 知 舟 吳 人 退 形 之

押 入 一 件 書 也



リ5
15602
2



一 天國私天保山河合宗也廣河追之
傳揚言也後因但長方由故也而亦
池田新田進走也山也ハツテイラニ
也右取弟病は極仕方ニ言也廣河
汝上陸也自詠也對也身但長方大
相并也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也

中私市に横立切りし後、兵庫川に舟を以て又上陸し、
 舟ありて横立し、珍貴物曾西亞私に名書あり、
 漢字に讀みし者、之を以て、舟ありて、又名徳を以て、
 敵依て、横立し、舟ありて、舟ありて、舟ありて、舟ありて、
 冥途に在り、波水舟中、舟ありて、舟ありて、舟ありて、
 及、舟ありて、舟ありて、舟ありて、舟ありて、舟ありて、

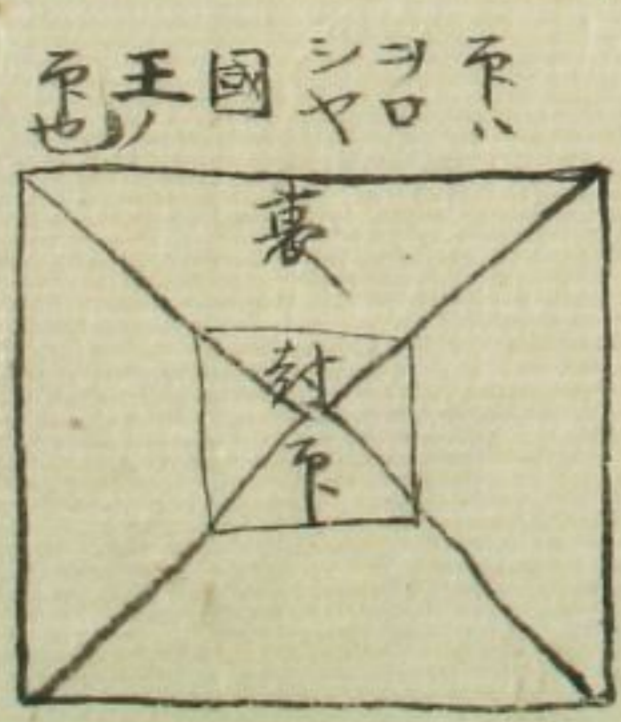
西所御奉行

御城代
 土屋米女正極

川村將言守

魯西亞國師船到此地
 自箱館大日本國大憲亦知也

船中在五百鎰
 大飽五十二朋



右九月十八日申判魯西亞國吳人大坂女治川四丁目三而
 川村將言守に渡す

後四日

土佐兵衛守

右記の所中如きしは魯西亞に在

魯西亞師船一艘
以今月中旬到於
大坂之港因宜諭
命令東到於下田

授以此文書必為

他日下田奉行之

證左云

佐永信清守

川村將守

嘉永七夏月

此書同文同筆作兩紙其一授貴船
以為到下田證書其一為贈下田

